

見沼田んぼ・野草スケッチ 「オオバジャノヒゲ」 大葉蛇の鬚

科名： ユリ科（新しいAPG 植物分類体系・キジカクシ科） ジャノヒゲ属

花言葉：心の落ち着き 飾らない人



2012.6月 鷲神社の北側にて 晴れ

P. S. 鷲神社は、見沼田んぼの東側を流れる代用水東縁に森閑とした境内があります。この神社の北側の小道脇に春には、すみれが咲いていましたが、季節が変わると野草とともに20cm 丈の白い花をつけたオオバジャノヒゲが咲いていました。



真上から見る

「オオバジャノヒゲ」	
原産地：	日本固有種
生育地：	本州、四国、九州に分布し、山林中の陰地に生育。ときに群生する。
茎 丈：	線形で根出し高さ15-30cm 幅 4-6mmあり、厚味があり丈夫。
葉：	
花期：	6-8月 根出葉の間から高さ20-30cmになる花茎をだし、その上部に穂状花序、小さい花つける。
花・花色：	淡い紫色であるが、まれに白色もあり。花被片は6個あり、同形で離れて漏斗状に開く。花柱は円柱状
種子：	灰黒色、灰緑黒色、コバルト色で、径 8-9mmの長めの球状
特徴：	ジャノヒゲと比べると、葉は広く厚く、花序軸が太いので、容易に区別できる。
名前の由来：	ジョウノヒゲが転訛して、ジャノヒゲになったと考えられる。ジョウノヒゲとは、「尉（じょう）の鬚」の意であり、能面で老人の面を「尉（じょう）」といい、この葉の様子をその面の鬚（あごひげ）に見立てた。また、ジャノヒゲに比べて葉が大きいことから、 <b>オオバジャノヒゲ</b> （大葉蛇の鬚）という。
記述は、ウィキペディアとみんなの花図鑑を参考にさせて頂きました。 17.7.5	